



## 2024 年 12 月

---

- [今回のリリースでの新機能](#) (1 ページ)
- [このリリースでの変更点](#) (2 ページ)
- [問題](#) (3 ページ)

## 今回のリリースでの新機能

### Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードで次の新機能が導入されました。

Cisco Spaces で、エンゲージメント、ロケーションペルソナ、Space Manager、および Space Experience の各アプリケーションの**分割ライセンス**がサポートされるようになりました。このライセンスの変更により、これらのアプリケーションで上位階層のライセンス機能を体験できるようになります。



- (注) 分割ライセンス機能は、Cisco Smart Software Manager (CSSM) システムに登録され、Cisco Spaces ダッシュボードでスマートライセンストークンを登録することで Cisco Spaces アカウントと統合されたアカウントでのみ使用できます。アカウントが CSSM に登録されていない場合は、アカウント管理者に連絡することをお勧めします。

### Cisco Smart Workspaces アプリケーション：サイネージ リリース 1.2

次の新機能が **Cisco Smart Workspaces** アプリケーションに導入されました。

- **すべてのスペースタイプ/関心ポイント (POI) の選択**：任意のルームをタップしてルーム名を表示し、マップの中央へと移動させます。
- **すべてのスペースの検索**（コラボレーションデバイスなし）：ルームやその他の POI を簡単に検索して特定します。
- **スペース名の編集**：デジタルマップエディタ（[Setup] > [Locations & Maps] > [Digital Maps editor]）でスペース名を変更して、検索結果を改善できます。たとえば、カフェ、休憩室、階段など、さまざまな POI タイプを区別します。

### 場所への経路案内の機能フラグ（早期機能テスト/限定提供）

- **すべてのスペースタイプ/POI の選択**：マップ上の任意のスペースタイプまたは POI を選択して、ナビゲーションおよび方向の取得を行います。
- **すべてのスペースタイプ/POI へのパスファインディング**：現在の場所の位置情報から同じフロアのスペースへの経路を描画します。コラボレーションデバイスのない部屋への経路も表示できるようになりました。
- **すべてのスペース/POI への経路案内**：パスファインディングと組み合わせて、すべてのフロアのすべてのスペースで QR コードをスキャンして、複数フロアでの進路変更方向と青色ドット表示の経路案内を取得できます。
- **現在の場所位置情報に関する更新**：最適な経路角とズームオプションが追加され、位置情報と表示が向上しました。

### スマートルームの場合（早期機能テスト）

スマートルームメーカーとラベルの機能を利用すると、キオスクまたはサイネージバージョン 1.2 のマップで利用可能なスマートルームメーカーを使用して、スマートルームを簡単に検出、選択、および移動できます。

## このリリースでの変更点

### デジタルマップ：ユーザー体験の強化

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

- **推定時間と電子メール通知を使用するマップ処理ステータスレポート**：マップ処理機能が強化され、マップ生成に時間のかかる場合に報告された問題に対処しました。この機能強化により、マップを正常に送信すると、ウィンドウで推定処理時間が表示されます。[Digital Maps] リストビューで各建物のステータスメッセージにカーソルを合わせることで、暫定的な ETA やエラーの詳細を含む処理ステータスを表示することもできます。さらに、送信者はマップステータスの変更に関する電子メール通知を受け取ります。
- **マップの再処理/CAD ファイルの再送信**：マップの再処理の使用方法が強化され、必要な変更を正確に指定できる機能が追加されました。これにより、ターンアラウンド時間を短縮できます。一般的な理由のリストから選択し、再処理要求の証拠として補足ドキュメントまたは画像とともに追加のコメントを指定できます。

**STANDARD マップ（ベータ版）**：Cisco Spaces に、STANDARD デジタルマップ（ベータ版のウォーターマーク機能を含む）のベータ版が導入されました。STANDARD マップは PRO バージョンに比べてより高速に生成されますが、機能が限定されているため、サポートされるユースケースの範囲も限られています。

STANDARD マップの向きと位置が、Earth マップ上の実際の建物の位置と完全には一致しない場合がありますので注意してください。[Standard Map] プレビューにあるツールを使用して、STANDARD マップの位置と向きを調整することを推奨します。



- (注)
- PRO マップは ACT または UNLIMITED ライセンスを持つ場所でのみ使用できますが、STANDARD マップは SEE または Extend ライセンスを持つ場所でアクセスできます。
  - デバイスの配置に STANDARD バージョンのマップを使用できます。ACT または UNLIMITED ライセンスを持つ場所では、PRO バージョンが完全に生成されるまで STANDARD マップを使用してください。

### Cisco Smart Workspaces アプリケーション：サイネージ リリース 1.2

Cisco Smart Workspaces アプリケーションでは、次の機能強化が加えられました。

- **アイドルタイムアウトの動作**：マップは、非アクティブな状態が4分間続くと自動的に中央に戻るため、次のユーザーのユーザー体験が向上します。
- **新しい部屋マーカー**：部屋の見つけやすさと認識のしやすさが向上しました。
- **現在の場所オリエンテーション機能の更新**：任意のフロアからマップ上のキオスクの場所に移動するための機能が強化されました。

## 問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

## 未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

## 解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の解決済みの問題

| 問題識別子                      | 問題の説明                                                       |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------|
| <a href="#">CSCwn19510</a> | Webex トークンの再接続時に、場所が [Locations & Maps] セクションにリストされず確認できない。 |
| <a href="#">CSCwn42673</a> | IoT Explorer：温度上昇に関する正確なデータを保存できない                          |



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。